

化学／繊維／金属部会活動概況報告

化学／繊維／金属部会
副部会長 櫻井 理孝



1. はじめに

当部会は、化学部門 33 名、繊維部門 4 名、金属部門 21 名、合計 58 名(1 人:化学/金属所属)の会員で構成されている。地域別には岡山 15 名、鳥取 4 名、広島 24 名、山口 14 名である。以下に本年度の主な活動状況を報告する。

2. 2020 年度の活動状況

2-1 基本行事の概要と実績

当部会では、幹事 21 名(その内、部会長 1 名、副部会長 5 名)を中心に活動している。幹事は、地域別には広島 13 名、山口 4 名、岡山 3 名、鳥取 1 名。毎年度の計画・実施については幹事会(年 2 回)、例会(年 1 回)、行事別の担当者会議等で討議して決めている。例年の基本的な行事は、①部会主催講演会、②工場見学会、③Web 中継である。

図 1 に 2020 年度の主な行事計画と実績を示す。本年は、新型コロナウイルス感染拡大が懸念される状況のもと、オンライン形式での講演会開催を試行して実施した。また、幹事会と例会についても、リモート会議形式とした。

尚、9 月に予定されていた合同見学会は中止となった。

【2020年度 主な年間行事計画と実績】	
① 部会講演会	
第一回【オンライン形式】	8/29実施
第二回【オンライン形式】	10/3実施
② 見学会(9月予定)	
機械部会、電気情報部会と合同見学会	中止
③ 統括本部の各部門主催講演会のWEB中継	
④ 部会幹事会	
第一回【リモート会議】	5/9実施
第二回【リモート会議】	11/14実施
⑤ 例会【リモート会議】(2021年1月23日予定)	

図一 化学繊維金属部会の主な行事計画と実績

2-2 部会主催講演会

当部会主催の講演会は、例年は、7 月の土曜日に開催している。しかしながら、本年は、新型コロナウイルス感染拡大により、人が集まる講演会は開催が危ぶまれた。例会、幹事会、E-mail での議論を経て、今年度の講演会は Microsoft Teams を用いたオンライン形式で、2 回に分けて行うこととした。ここで議論・検討された内容は、伊藤技術士と栗原技術士により、「Web 講演会での発表内容の取扱いについて」と題し、中国本部会報 No20 に社会論文として発表された。

また、今年度は、講演会のテーマを決め、それに沿った講演を行うこととした。『自動車産業の大変革に伴う材料技術・部品の進化』をテーマとし、今後の成長が見込まれる本分野の動向を把握、俯瞰しながら、関連する材料技術・部品の進展について理解を深めることを目的とした。

今年度の講演題目と講師は以下の通り。

- ①自動車産業の大変革に向けた取り組み -2050 年のモビリティの姿を求めて-
香川大学 創造工学部教授 佛圓 哲朗 氏
- ②自動運転に伴う電子部品の進展
化学/総監部門技術士 栗原 光一郎 氏
- ③自動車の電動化・自動運転化に向けた
エンプラの展開

3 今後の予定

コロナ禍の中、活動が制限される部分があったが、新たなツールの活用により逆に広がる部分も見えてきた。講演会の参加者は、例年は広島に近い県に限られたが、本年は参加者の 20%が中国 5 県外からであった。遠方からの参加が容易になり、中国地方からの情報発信の可能性も高まった。今後、with/after コロナ視点で部会活動の活性化を検討したい。